



eiwa サンフランシスコ

2013 年度 【高校部】 前期授業案内

1710 S. Amphlett Blvd.,#120
San Mateo, CA 94402
TEL 650-235-3410
FAX 650-235-3412
enasf@msn.com

2013 年度年間予定表

2月	7日(木)	前期授業開始	8月	20日(火)	後期授業開始
				31日(土)	小4・5 第6回学力判定テスト
3月	9日(土)	小4～6 第1回学力判定テスト		9月	14日(土) 小6 帰国生模試
	16日(土)	小5・小6 帰国生模試		21日(土)	小6 第1回合格判定模試
	23日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		28日(土)	中1・2 学力判定テスト
					中3 第1回合格判定模試
4月	1日(月)～ 6日(土)	春期講習会	10月	5日(土)	小4・5 第7回学力判定テスト
	6日(土)	小4～6 第2回学力判定テスト		19日(土)	小6 帰国生模試
	27日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		26日(土)	小6 第2回合格判定模試
					小5 帰国生模試
5月	4日(土)	小6 第3回学力判定テスト			中1・2 学力判定テスト
	11日(土)	小4・小5 第3回学力判定テスト	11月	2日(土)	中3 第2回合格判定模試
	18日(土)	小5・小6 帰国生模試		9日(土)	小6 帰国生模試
	25日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		16日(土)	小6 第3回合格判定模試
					小4・5 第8回学力判定テスト
6月	8日(土)	小6 第4回学力判定テスト		18日(月)～ 23日(土)	サンクスギビング休校
	15日(土)	小5 帰国生模試			
	17日(月)～ 22日(土)	小4・5 第4回学力判定テスト		30日(土)	小6 帰国生模試
		小6 帰国生模試			中1・2 学力判定テスト
	29日(土)	夏期特別講習会	12月	7日(土)	中3 第3回合格判定模試
				14日(土)	小6 第4回合格判定模試
		中1・2・3 学力判定テスト		21日(土)	小5 帰国生模試
					小4・5 第9回学力判定テスト
7月	6日(土)	小6 第5回学力判定テスト		22日(日)～ 24日(火)	冬期講習会
	13日(土)	小4・5 第5回学力判定テスト			↓
	20日(土)	小6 帰国生模試		26日(木)～ 30日(月)	↓
	24日(水)	中1・2・3 学力判定テスト			↓
	25日(木)～ 7日(水)	前期授業終了		31日(火)～ 6日(月)	冬期休校
		夏期講習会	1月		
8月	8日(木)～ 19日(月)	夏期講習会		11日(土)	小4・5 第10回学力判定テスト
		夏期休校		18日(土)	小5 帰国生模試
				25日(土)	中1・2 学力判定テスト
				25日(土)	後期授業終了

★ 予定は変更される場合がありますので、月間予定表で必ずご確認ください。



「個性」を育む指導に向かって。

The Shape of Education to Come

einaの前身である「国立学院予備校」が開校したのは1972年のことでした。

爾来、東京国立市を核に受験教育を展開、有数の受験指導塾として、高い支持を戴き、1987年からは、その成果を海外の子どもたちにも提供すべく、活動範囲を世界へと広げてきました。

海外で指導するようになり、さまざまなご要望に応えるなか、私たちは「受験指導」とはちがう教育にも深く関わるようになりました。eina北米が、日本国内の方針から離れて幼稚部を設置し、幼児・低学年教育に力を入れるようになったのも、その一端です。こうした活動を通じて、私たちは、単なる「塾」としてではなく、海外に住んでいる子どもたちに貢献できる「教育機関」として存在する必要性を痛感しました。

海外にお住まいの子どもたちは、それぞれにちがった背景があり、多様な個性が育っています。私たちが指導するにあたって、画一的なカリキュラムではなく、柔軟性をもったコース・デザインが必要です。そのため2010年より、小学校低学年にはベネッセの『グリムスクール』を導入、高学年は『受験クラス』と『基礎クラス』に分けるなど、指導内容の多様化を図りました。

さらに昨年より、算数はレベルの高い内容を学習したいが国語は基礎力を充実させたい、といったご要望にもお応えできるよう、教科ごとにクラスの選択できるように編成しなおしました。お子様の個性に合ったクラス選択の可能性がさらに広がったと考えております。

このように「受験指導塾」を超えた教育機関となるべく努力を積み重ねておりますが、われわれの拠りどころが「受験」にあるという信念は変わりません。「受験」こそが、私たちが鍛えた道場であったからです。とかく、特殊訓練めいたものとして揶揄されがちな「受験勉強」ですが、教育の本質は一つです。むしろ、必ず結果によって評価がくだされる「受験」の中に身をおいてきたからこそ、私たちの「教育者」としての実力が培われたのです。

各教科の本質をつかみ、お子様の個性を見極めて身につけさせる指導は、『受験クラス』でも『基礎クラス』でも、変わりありません。その中身を、ぜひみなさまの目でお確かめください。



全学年対象

英検-集中特別講座

コースは『準1級』コースを予定しています。

中学受験から大学受験にはもちろん、社会人にとってもその取得意義は大変大きなものです。その勉強方法をこの機会に習得されてみてはいかがでしょうか。

6月8日の試験合格を目指し、全12回の集中講座の中で、英検特有の熟語、語彙対策・長文読解の為のキーとなる単語の見つけ方・準1級に不可欠なWriting指導を中心に行います。

●英検（実用英語技能検定）の必要性

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を的確に評価し、実社会で役立つ「世界レベルの英語力」を測る資格試験。入試や海外留学、企業など社会で広く認められている日本国内最大規模の検定試験です。

2級—高校卒業程度 準1級—大学中級程度 1級—大学上級程度

●帰国生にとっての利点

- 日常使っている英語力を客観的な試験を通して試すチャンスです。帰国生としてどれだけ英語ができるのかを形として表す指標の一つになります。
- 入試に有利。特に中学帰国生入試では英検準1級はもっていて当たり前。難関中学へも英検保持者（特に1級保持者）は数々の栄光に輝くという過去実績があります。
- 受験の際に、英検保持者に対し優遇制度をとる中学・高校・大学があります。
- 高校や大学の単位として認定されているところもあります。

授業日程

	期 間	曜日	時間	授業分数
①	3月14日～6月6日	木	19:30～21:00	80分×12日

高校部



【小論文インプット講座】

『書くためには、まず読めなければならない』。

つまり、何かを書くためには、書くに値する知識・情報を書き手が持っているというのが大前提となります。自分の中にトポス＝知の枠組みをしっかりと構築することで、発想力・論理的思考力を拡大させながら、同時に書く練習を進めていくというのが最も効果的な小論文学習法であると言えます。それを実現するために、昨年度より『小論文インプット講座』を開設いたします。

この講座では、大学入試の現代文の出典となった文章を読み進めながら、小論文に頻出の分野について、内容を深く理解するための背景知識を蓄えながら、幅広く文章を読みこむ訓練をおこないます。さらに、読んだ内容を自分の使える知識として蓄えるため、自分でまとめたおす要約作業をおこない、文章表現力も高めていきます。もちろん、早稲田大学の帰国生共通試験『現代文』対策やその他の大学の『現代国語』対策もカバーしています。アカデミックな文章を理解するうえで必須となる読解用語 vocabulary building によって、知の perspective を構築しよう！

【小論文アウトプット講座】

近年さまざまな大学でよく出される読解型小論文問題の対策をメインに授業をおこないます。読解型小論文の場合、まず与えられたテーマに関して書かれた文章を正確に読み取り、そこから論点を自分でえぐりだし（＝自分は何を問題にしたいのかを明確にし）、それに対して自分なりの解答を与えるというプロセスをしっかりと身につけなくてはなりません。そのため、このクラスでは、小論文で取り上げられる頻出テーマに関して、膨大な資料や文書を読んで、内容を分析し、自分で問いを立てて、自分なりの解答（考察）を文章にするアウトプット訓練を徹底的におこないます。この作業は、慣れるまでは正直しんどい作業となりますが、それを乗り越えようとする意志を持った生徒たちの参加をお待ちしております。

【TOEFL】

TOEFL で必要とされる 4 技能 : Reading, Writing, Speaking, Listening 能力を高めるクラスです。生徒各々の弱点を見つけ、それを伸ばしていく手助けをします。大学入学時に、スコアを求められることが多々あります。ひとまずは 100 点突破を目標としますが、大学によっては、それ以上必要なところもありますので、早めに志望大学を決め目標点数を定めることをお勧めします。

【SAT Reading, Writing & Math】

アメリカの大学のみならず、日本の大学でも SAT のスコアの提出が求められます。Reading では語彙力を高め、長文読解能力を高めめます。Writing では、文法問題を中心に行います。Essay は構成の仕方のみならず、どんな題材が来てもアイデアが浮かび、よりよいものが書けるようになることを目標としています。

Math のクラスでは解き方を工夫すればその問題レベルは、ほぼ小学生から中学生レベルが中心です。ただ、英語独自の言い回し、数学用語をきちんと理解しないと高得点は取れません。傾向をつかみ効率的な点数の取り方を訓練します。

【国語総合Ⅱ】

『国語総合Ⅰ』のクラスで取り組んできた『読解用 vocabulary building』（アカデミックな文章によく登場する難解語・哲学用語の理解習得）を通して構築してきた『思考のための知的枠組み』（思考・思想を理解するための背景知識）をベースにして、『国語総合Ⅱ』のクラスでは、国立大・難関私大・センター試験レベルの文章を題材に、あらゆる分野の文章を読み込み、そこから情報・思想・哲学をしっかりと学びとれるよう指導します。また、文章読解により得られた情報・考え方を、今後小論文を書くようになった時に、自分のネタとして活かせることを想定した授業もしてまいります。さらに、教育漢字・慣用句・ことわざ・四字熟語の知識補強もあわせて行います。

【数学Ⅱ・B】

中学数学、数Ⅰ・Aの履修を済ませ、理系受験を目指す生徒が対象です。

日本の理系大学を帰国生として受験する際、数学、理科（物理・化学・生物・地理）が重要な教科の一つになります。それらのレベルは現地校のものとは比較にならず、日本の高等数学、各理科の科目の履修は必須です。受験勉強における時間的な負担も大幅に増えます。更に、学年相応の勉強をしていては受験に間に合わなくなるので、早期履修が要求されます。帰国生の理系受験は現実的には大変厳しいものとお考え下さい。

【化学】

前期は、理論化学、即ち、「原子の構造・周期表」、「化学結合」、「化学反応式とモル計算」、「酸と塩基」、「酸化と還元」、「電池と電気分解」、「熱化学」等について授業を行います。問題演習の解説を通じて、理論化学に必要な知識と計算方法のしっかりとした定着を図ります。

後期は、「有機化学」と「無機化学」についての知識事項を中心に授業を進めます。単なる暗記ではなく、日本の入試問題に適宜応用可能な有機・無機化学に対する深い理解力を養成します。

授業時間帯

科目	曜日	時間帯	授業分数/週
小論文インプット講座	火	19:30~21:00	各 80 分
小論文アウトプット講座	水	19:40~21:10	
TOEFL	火	19:30~21:00	80 分
SAT Reading	金	18:30~20:00	80 分
SAT Writing	火	18:20~19:20	60 分
SAT Math	水	18:35~19:35	60 分
国語総合Ⅱ	土	11:10~12:40	80 分
数学Ⅱ・B	土	9:30~11:00	80 分
化学	金	20:10~21:10	60 分

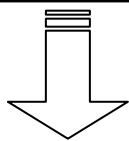
お問い合わせから入学まで

お問い合わせ

ena サンフランシスコ TEL (650)235-3410

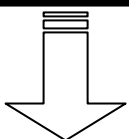
FAX (650)235-3412

e-mail enasf@msn.com



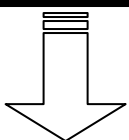
体験授業申込書提出

申込書を FAX、e-mail、郵便で送るか、校舎窓口にお持ちください。
こちらから確認のお電話を差し上げます。



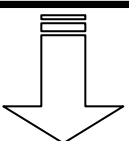
体験授業

筆記用具とノートをご用意ください。



履修クラス決定

体験授業を担当した講師と、相談させていただきます。



入学手続き

入学手続書、個人調査票、諸規定（署名）の3枚の書類を提出してください。校舎窓口では、費用納入の必要はありません。入学金その他の費用について、後日請求書がご自宅に郵送されます。

ご帰国の場合は

ご帰国前に「変更届」の帰国連絡欄をご記入のうえ提出してください。日本国内のenaに転校される際、入学金免除、1ヶ月授業料無料の特典があります。お近くの校舎を訪れる前に渋谷校国際部松嶋までご連絡ください。(TEL 03-3461-0511) また、ご帰国にあたり、あらかじめお支払いを済ませたい場合は校舎の方へご相談下さい。

ena サンフランシスコ校 2013 年度規定

受講に関する諸規定

- (1) 2013 年度の授業は 2013 年 2 月より 2014. 年 1 月までとなります。
- (2) ご住所、電話番号、メールアドレスなどに変更があった場合は、変更届をご提出下さい。
- (3) ご入学手続き後の体験授業は、その後受講されない場合は料金は発生しませんが、受講を継続される場合は、体験授業の分にも正規の授業料が発生します。
- (4) 月謝を滞納された場合、出席停止とさせていただきますことをご致します。

以上の各点につきましてあらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

「変更届」の規定

- (1) 「変更届」を、前月 20 日までにご提出された場合に限り、該当月の①休学・②退学・③履修科目数の変更・④有料模試受験のキャンセル・⑤授業の欠席を受け付けます。
- (2) 期日を過ぎて提出された変更届、記入漏れのある変更届、保護者様のご署名のない変更届は無効です。
- (3) 月額授業料の按分計算が必要となった場合に限り、調整手数料として、1 回あたり US\$5 を請求いたします。
- (4) ena 講師、スタッフへのお電話・メール・FAX、または口頭のみでの変更連絡はトラブルのもととなりますので受け付けかねます。
- (5) 入学金、教材費、諸費については、例外なく調整はございません。

上記について、ご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



世界でも、日本国内でも子どもの学習をサポート



1710 S. Amphlett Blvd.,#120
San Mateo, CA 94402
TEL 650-235-3410
FAX 650-235-3412
enasf@msn.com

